



2019年7月16日

住友商事株式会社

株式会社総合車両製作所

フィリピン 南北通勤鉄道向け鉄道車両 104 両受注について

住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭誠之、以下「住友商事」）および株式会社総合車両製作所（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：西山隆雄、以下「J-TREC」）は、フィリピン共和国運輸省（以下「DOTr」）から南北通勤鉄道事業フェーズ 1（マニラ市ツツバン～ブラカン州マロロス区間）の車両納入パッケージ CP03（南北通勤鉄道向け鉄道車両 104 両納入プロジェクト、以下「本プロジェクト」）を受注し、本日 7 月 16 日に契約調印しました。

フィリピンは近年、経済成長率 6-7 パーセントで推移しており、ASEAN 諸国の中でも高い経済成長を誇ります。人口は 1 億人を超え（世界第 12 位）、中でもマニラ首都圏の人口急増は著しく人口集中による交通渋滞は深刻です。人々の移動や貨物物流への影響など、交通渋滞による年間の社会的損失は約 2.4 兆円といわれています。

本プロジェクトは、国際協力機構とフィリピンとの有償資金協力に基づき計画された日本国政府開発援助事業です。マニラ首都圏と周辺都市を南北に結ぶ「南北通勤鉄道計画」のうち、マニラ市ツツバンと北方のブラカン州マロロス区間（約 38 キロメートル）を走る鉄道車両 104 両（8 両×13 編成）を設計、製造し、DOTr に納入します。マニラ首都圏の交通ネットワーク強化を実現し、交通渋滞の緩和に寄与するプロジェクトです。契約金額は約 250 億円で、2023 年 2 月に全車両を引き渡す予定です。

住友商事は、これまでに国内外で積極的に鉄道関連ビジネスを展開しており、東南アジア、米国、東アジアを中心に数多くの鉄道建設案件、車両輸出案件を手掛けてきました。住友商事は、豊富な経験を生かして本プロジェクトの着実かつスムーズな契約履行を推進していきます。

J-TREC は、ステンレス車両製造のパイオニアとして長年培ってきた技術・ノウハウを結集した次世代ステンレス車両ブランドである「sustina ※」を国内外で積極的に展開し、納入してきました。本プロジェクトにおいても、「sustina」を提供することで、フィリピンの交通渋滞の緩和や地域の発展に寄与していきます。

※「sustina」：省エネルギー性、安全性、保守性を向上させた、J-TREC が設計・製造する次世代ステンレス車両のブランド名。

<参考資料>

■本プロジェクト概要

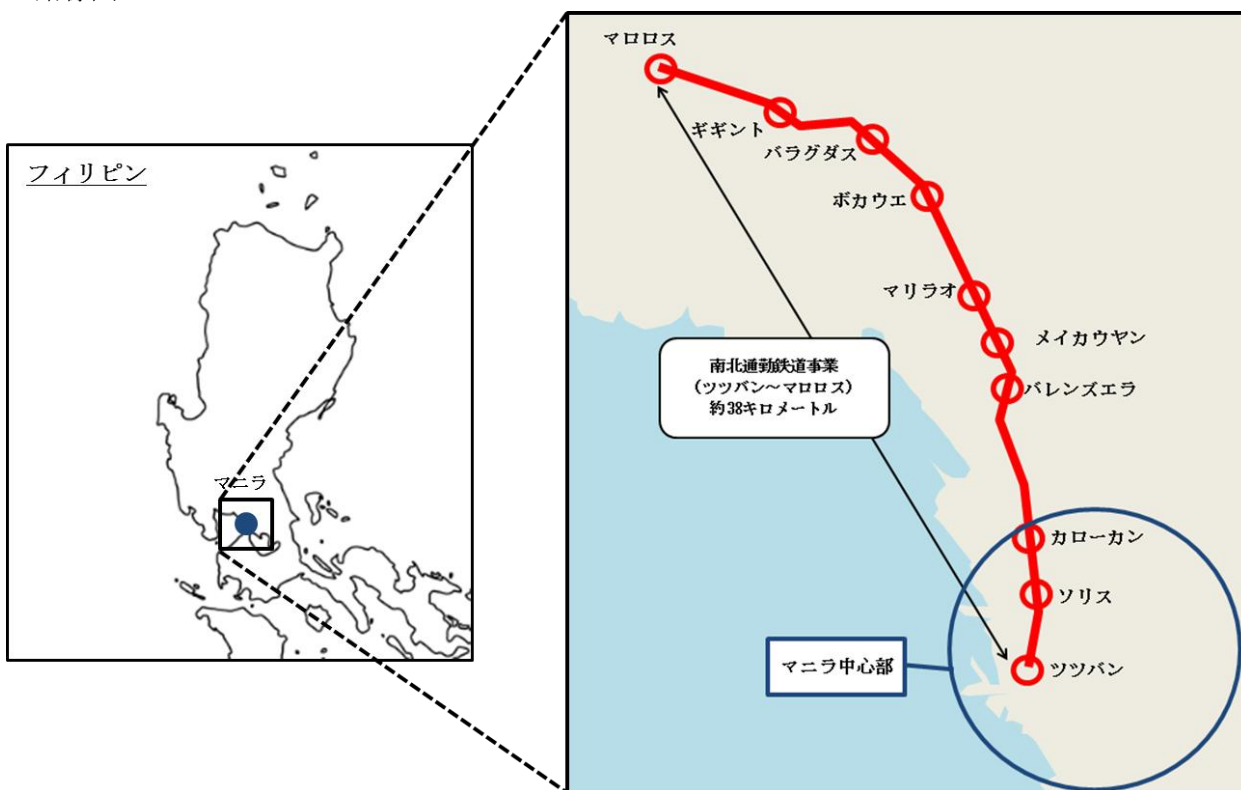
案件名 : フィリピン南北通勤鉄道事業フェーズ 1 CP03
(マニラ市ツツバン~ブラカン州マロロス区間)

顧客 : フィリピン共和国運輸省

契約内容 : 鉄道車両 104 両 (8 両×13 編成) の設計、製造、試験、製品保証 (Warranty 対応)、予備品・特殊工具納品、運転シミュレーター納入、従業員トレーニング等

全体工期 : 42 カ月

■路線図



■完成予想図

